

5月の防犯対策



令和4年5月1日

(公社) 滋賀県防犯協会



ないさ許さない 通報 変異感したら



鉄道警察隊によると昨年の県内の電車や駅構内などの鉄道施設で痴漢や盗撮、のぞき見などの被害が52件。前年に比べて10件増加しました。

このうち痴漢は30件と約6割を占めており、盗撮は「被害者が気付かない場合も多く氷山の一角」と警戒を呼びかけています。

ヘルプカードには女性の泣く顔のイラストが描かれ、吹き出しで「痴漢に遭っています。助けて」とデザインされています。当協会では4月12日、JR

痴漢に遭った時、周りの人に見せて助けを求めてください。

ヘルプカード

痴漢に遭っています。
助けて!!

このカードを見た方は、すぐに駅係員や警察へ通報をお願いします。

滋賀県警察鉄道警察隊

草津駅で鉄道警察隊などと合同でヘルプカードなどを配り「被害に遭っても声を上げられない場合は、勇気を振り絞って周囲の人にカードを渡して」と呼びかけました。

カードを提示された場合は、警察への通報や「助けてあげなきゃ」と思って行動してあげてほしいと思います。

行楽シーズンとなりました。 くれぐれも車上ねらいに気を付けて

まだまだコロナの感染防止に気を付けなければなりません。行楽シーズンになってマスクなどをしながら観光を楽しまれる方々が多くなりました。ここで、ご注意をお願いします。

今年に入って滋賀県の刑法犯認知件数が昨年を上回って増加しており、中でも車上ねらいが3月末で50件を超え多発犯罪の範疇に入っています。



特に行楽期は観光地の駐車場などで車上ねらいが連続発生する傾向があります。車外から見るとところにカバンや衣類などが置いてあると犯人に物色され現金等が盗まれます。また、被害に遭った車でドアロックされていないか、鍵が半数を超えています。

《これだけは気を付けてください》

- 駐車するときは必ず施錠を!
- 車内(特に外から見るところ)にものを放置しない!
- センサーアラーム等で防衛を!

相次ぐ二セ電話詐欺 「お金を用意する」前に確認・相談

令和3年中の二セ電話詐欺(特殊詐欺)は、前年を上回る被害が発生しており、今年に入っても犯人グループからの電話が続いている状況です。今年の4月には

① 守山市の無職女性(81歳)の自宅に医師をかたる男から電話があり、「息子さんが診察に来た。咽喉がんが進んでいる」と話し、これに続いて女性の息子と名乗る男が「財布や携帯電話を盗まれた」「上司の息子が金を取りに行く」と偽りました。慌て信用した女性は自宅を訪れた男に約150万円を手渡ししてしまいました。後に息子に確認したところダマされたことに気が付きました。

② 大津市の女性会社役員(75歳)の自宅に午前中、息子になりました男から「喉の調子が悪いので病院に来たらキャッシュカードが入ったカバンをなくした。金を貸してほしい」などと電話がありました。慌て信用した女性は、自宅付近で息子の知り合いを名乗る男に100万円を手渡ししてしまいました。体調が悪いと聞いたことで後に女性が家族に電話してダマされたことに気が付きました。

という被害が出ています。犯人グループは巧妙になりすまして緊急性を強調し電話に出られた方を慌てさせ混乱させ疑う余地を与えません。しかし、いずれの被害も「お金を用意する」前にちょっと確認、連絡していればと悔やまれます。それだけ犯人のだまし文句が真に迫ったものと思われれます。

犯人と直接話をしないよう留守番設定や防犯電話が有効とされていますが、お金に関わる電話がかかってきたときは、まず確認して相談することを忘れないでください。